

【駅隣接の未利用PREを活用した地域振興拠点施設の再生可能性調査】

【分野:スモールコンセッション】【対象施設:ゆうゆうの里かしやま】【事業手法:コンセッション・SIB】

①調査概要

「駅隣接の未利用PREを活用した地域振興拠点施設の再生可能性調査(以下、「本調査」とする)」は、兵庫県小野市(以下、「小野市」とする)が保有する小規模な未利用PREである「小野市農産物加工施設ゆうゆうの里かしやま(以下、「本施設」とする)」について、ソーシャル・インパクト・ボンド(以下、「SIB」とする)を活用し、かつスモールコンセッション方式によるアグリビジネスの拠点や、ふるさと納税返礼品の開発を行うインキュベーション施設としての利活用の可能性を調査するものである。本調査を通じ、長らく空き施設となっていた未利用施設を利活用することで、地域振興の拠点として再生させることを目的とする。また、本調査では兵庫県内の近隣市町に所在する農業専科を有する大学や高等学校が多く所在していることから、学生・生徒たちに研究の場を提供することや、研究の過程で開発した商品にPFSを適用する等、様々なスキームを検討する。

②実施方針・フロー

①前提条件の整理

本施設の周辺環境や施設の状態、制約条件等の前提条件を整理

②事業者・関係者ヒアリング

地域住民団体、地元事業者、学生等を対象としたヒアリングの実施

③事業収支・資金調達等の検討

事業資金調達スキームの検討

④事業スキームの検討

前項までの内容を整理し、本施設や小野市の地域振興やまちづくりにとって柔軟かつ最適な事業スキーム(案)を構築する

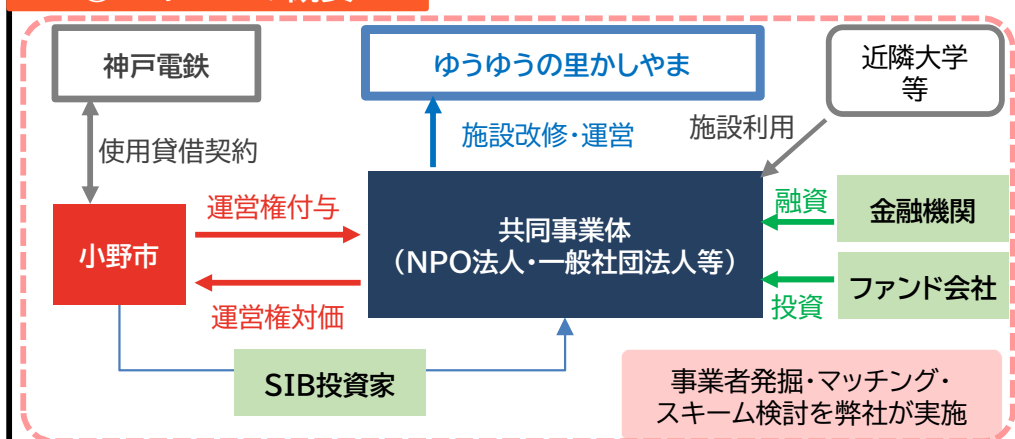
⑤事業化に向けた情報整理

事業化に向けた課題の整理等を行う

③地方公共団体概要



④スキームの概要



▲事業スキーム(案)

■期待される効果

- ・未利用PREを地域振興拠点として有効活用することが可能
- ・官民双方にとっての事業機会や雇用の創出及びノウハウの蓄積
- ・学生への実地の場での学ぶ機会の提供

■想定される課題・留意点(一例)

- ・旧まちづくり交付金を活用して設置された施設のため、施設の利用に制限(利用人格・利用目的の指定等)がある。
- ・施設利用可能な団体がスモールコンセッションによる利活用の知識や理解を深める必要がある。また参加者の事業参画の意欲向上・機運醸成を図る必要がある。
- ・土地や建物に関する権利関係や関係者の整理が必要である。

▲期待される効果と想定される課題・留意点